

ろうふく協 NEWS

ホームページ <http://fukuoka.rofuku.net/> メールアドレス roufuku@h8.dion.ne.jp

福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階

Tel 092-263-3141 fax 092-263-3121

一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

●発行／2013年9月10日

●発行人／高島 喜信

●編集／大原 始

Fukuoka ROFUKUKYO

vol. 126

南部労福協 一職場・地域で労働者福祉運動の新たな創造を担うリーダー育成を目的に 第1回 労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座

労働者福祉南部ブロック協議会(南部労福協)は、8月30日・31日の両日、長崎市のホテルにおいて「労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」を開催しました。講座には管内の活動家49名が参加し、二日間熱心に受講しました。福岡県労福協からは7名が参加しました。



本講座は、昨年まで中央労福協主催で開催されていましたが、より多くの方が参加しやすいようにということで、本年度からブロック開催となりました。目的は、21世紀社会に対応しうる新しい労働者福祉運動の構築にむけて、労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史の伝承者(講師・リーダー)として、職場や地域で労働者福祉運動の新たな創造を担うリーダーの育成を図ることが目的で開催されました。

[カリキュラム]

【講義1】「労働者自主福祉運動の理念と歴史、そして課題」

講師：中央労福協講師団講師 高橋 均 氏

【講義2】「働くことを軸とする安心社会」

講師：連合非正規労働センター 寺田 弘 総合局長

【講義3】「賢い消費者になるために」

講師：長崎県消費生活センター相談員 野口宏子 氏

【講義4】「日本社会と協同組織事業に期待するもの」

講師：早稲田大学教授 経済学博士 田村正勝 氏

第4回地方労福協会議

(中央労福協)

「生活困窮者自立支援法案」の説明を受ける

厚生労働省 生活困窮者自立支援室・熊木正人 室長



について協議を行い、地方段階の取り組みとして自治体要請行動やネットワークづくりなど、具体的な取り組み方針が確認されました。

二日目の会議では、中央労福協2013年度政策制度の要請事項について提起があり、地方との連携した取り組み展開が確認されました。次に、法人格移行後の運営課題について、関口税理士から提起があるとともに、出前で開催される情報交換会では自由な情報交換の場にしたいとの提起がありました。最後に、遠藤幸男副会長から二日間の会議全体のマトメが行われ、第4回地方労福協会議を終了しました。

中央労福協は7月8日・9日の両日、第4回地方労福協会議を東京都千代田区「明治大学紫紺館」で開催。47都道府県労福協の事務局担当者が集まり、当面する諸課題への対応方針などを議論しました。

会議では、主催者を代表して山本幸司副会長より挨拶があった後、中央労福協及び各ブロック労福協から前回会議以降の特徴的な取り組みについて報告があり、特に、中央労福協関係では「労働団体・事業団体連携行動委員会」での労金・全労済等の利用促進に向けた検討・協議事項のマトメ報告がありました。

引き続いて、厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室の熊木正人室長から、生活困窮者への新たな支援制度(生活困窮者自立支援法案)について講話がありました。なお、生活困窮者自立支援法案は通常国会で廃案となったものの、秋の臨時国会に再提出し成立をめざすこととしています。

協議事項では、中央報告で提起された労金・全労済等の利用促進に向けた連携行動委員会のマトメに対する意見交換が行われ、中央労福協より各地方段階においても具体的な行動を展開するよう要請がありました。次に「生活底上げ強化月間の取り組み(案)」に

2013 福岡県民さわやかマラソン大会 申込受付を開始

マラソンを通じて、心身ともにたくましい青少年の育成や勤労者の健康増進を図るとともに、家族のふれあいを深め、豊かでゆとりある県民生活を実現することを目的として開催されます。

- 開催日時：平成 25 年 11 月 17 日（日）10 時～（雨天決行）
- 開催場所：福岡市東区西戸崎「海の中道海浜公園／特設コース」
- 募集人員：2,000 人程度
- 参加資格：小学生以上（県内在住を問いません）
- 競技種目：1 km、2 km、5 km、10 km
(男女別及び学年・年齢層別)

□参加料：

一般	3,000 円	〔※入園料・保険適用あり ※参加料の返金はいたしません。〕
高校生以下	1,200 円	
親子ペア	3,000 円	

□申込期間：9 月 2 日（月）～10 月 11 日（金）必着

□申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、参加料を添えて最寄りの九州労働金庫へ持参くださるか、最寄りのゆうちょ銀行で、郵便振替を利用してお申し込みください。

申込書は、福岡県労福協、各地域労福協、連合福岡、九州労働金庫各支店、福岡県庁 1 階、アクロス福岡 2 階情報課、福岡市情報プラザ、福岡市各区役所、福岡県青少年育成県民会議 等

【お問い合わせ先】

□締切前（10 月 11 日まで）

福岡県民さわやかマラソン大会事務局

TEL 092-643-6001 FAX 092-643-6003

□締切後（10 月 15 日以降）・平日の午前 10 時から午後 5 時まで

TEL 092-715-3850 FAX 092-771-2827



昨年のマラソン大会の模様



協賛団体等を募っています！

さわやかマラソン大会は、参加料と企業・団体の協賛金等で運営を行っています。協賛いただける団体がございましたら福岡県労福協（092-263-3141）までお知らせください。

地域だより ~京築・田川地域労福協~



「軍師 官兵衛」観光振興に一役 ~行橋市~



来年のNHK大河ドラマに戦国時代の軍師・黒田官兵衛（1546～1604年）を取り上げられるのを機に、行橋市は官兵衛ゆかりの地として観光振興の活動を推進しており、官兵衛が滞在していた馬ヶ岳城跡の散策道路の整備や関連商品の開発をしています。

官兵衛は豊臣秀吉の側近として天下統一を助けた名将として知られる。1587年（天正15年）には、京都や宇佐など豊前6郡を秀吉から与えられ、行橋市とみやこ町にまたがる馬ヶ岳を約6カ月間にわたり根城としていました。

行橋市では『軍師官兵衛』ゆくはし推進会議を市3役や担当課員約35人で立ち上げ、官兵衛と行橋との関わりについて広く知られていない為、「市民から官兵衛の事を聞かれても答えられるように、熱い思いで対応して下さい」と呼びかけました。

また、行橋市では馬ヶ岳のパンフレットや官兵衛のロゴが入ったポロシャツの制作をしており、馬ヶ岳のふもとに駐車場を整備する事も計画し、今後は職員向けの研修や馬ヶ岳の現地視察を実施し、観光ルートを決めたうえで周辺市町とも連携し、ツアーも計画しています。



福岡労済通常総代会・全労済福岡県本部代表者会議を開催

～2013年度の活動計画が決定～

全労済福岡県本部は、2013年7月31日(水)13時30分より、西鉄グランドホテルにおいて、「福岡県労働者共済生活協同組合第59回通常総代会」および「全労済福岡県本部第4回代表者会議」を開催しました。

各地区から選出された総代の方々が出席する中、すべての議案が承認・決定されたところです。



<第4回代表者会議 議案抜粋>

第1号議案 2011年度～2012年度計画における2012年度事業報告・活動報告

および連結決算報告の件

第2号議案 2013年度活動計画および予算の件

第3号議案 本部長・副本部長・専務執行役員・経営委員の選任について



また、全労済は、社会貢献活動の一環として、1992年より環境問題などに取り組む団体を対象に助成事業を行っています。

本年も、環境活動や子育て・子育ち支援活動に携わる市民団体等を対象として広く全国から募集し、厳正な審査の結果、全国で70団体、総額19,696,686円の助成を行います。なお、福岡県では、環境分野の1団体が選定され、代表者会議で目録を贈呈しました。

新公益法人制度移行に係る情報交換会

中央労福協は、新公益法人制度の移行期限(2013年11月30日)が迫る7月、福岡・大阪・東京の3箇所において「新公益法人制度移行に係る情報交換会」を開催しました。

福岡会場は7月25日(木)、福岡市中央区舞鶴の全労済モルティ天神ビルで開催され、九州・山口の関係団体の担当者11名が参加しました。なお、中央労福協からは担当の足立職員と顧問の関口税理士が出席しました。

情報交換会では、移行後の法人業務について、新定款及び法人法に基づく業務運営や公益目的支出計画の遂行に係る課題などについて参加者から質問や意見が出され、関口税理士からの助言を含めて情報交換が行われました。また、申請中の団体担当者からは、法人会計に係る会計システム変更への対応などの悩みも出されました。

情報交換会の後半では、関口税理士から法人税法上の課題として、「非営利型法人における特別の利益」について、法人内で十分な検証を行い、日常の会計業務において、社会通念上、不相当な取引を生じさせない的確な管理体制を構築するよう助言がありました。14時から開催された情報交換会も3時間があつという間に過ぎ、17時に閉会しました。



2013年度連合福岡政策・制度セミナー

連合福岡は7月29日、都久志会館(福岡市)において約160名が参加するなか、2013年度の政策・制度セミナーを開催しました。

記念講演では、同志社大学経済学部教授の橋木俊詔(たちばなき としあき)氏から「安倍政権の危うさと日本経済の行方～アベノミクスで危惧すること～」をテーマに講演をいただきました。

橋木さんは、「アベノミクスは、インフレ率2%に上げる目標の下で、金融緩和・国土強靭化と称する公共事業支出の増加・成長戦略の三本の矢を放ったが、これにはそれぞれリスクがある。また、安倍政権の最大の課題は、社会保障政策を無視している。本来は、社会保障制度を充実させ『誰もが安心して暮らせる社会』を実現させる。その結果、必然と個人消費は拡大し、雇用が生まれ、企業・経済は発展する。このような社会を目指すべき。」という講演をされました。

講演の後、「2013年度政策・制度要求」の説明を行い、三つの専門委員会から、それぞれ要求策定に至った経緯も含め、要求内容の説明を行い、認識の共有化を図ることができました。

翌7月30日には小川福岡県知事を県庁に訪ね、「2013年度政策・制度要求」を提出しました。



講演での橋木俊詔 教授

こうきんの住宅ローン

こうきんの住宅ローンはうれしい特典いろいろ!!

① 金利引下げ制度により
ご融資金利を最大0.5%引下げ!



ご融資金利は、お申込日とお借入日時点の

2

どちらか低い金利を適用!

安心の団体信用生命保険付!

特約期間終了後に上限金利設定型または、固定金利選択型
を再契約されると、通常金利より最大1.2%引下げ!

住宅ローンの金利タイプをいつでも変更できるので安心!

土地代等の先行融資に利用できる
便利なつなぎ資金ローンも!

変動金利型

固定金利選択型(3・5・10年)

上限金利設定型

全期間固定金利型

ごくしきは、九州こうきんホームページまたは店舗の商品要説明書で確認ください。

お近くのこうきんにお申し出いただければ、ご返済額の計算をいたします。また、パソコンや携帯電話のホームページから「ローンシミュレーション」をご利用いただけます。

この内容は、2013年4月1日現在の商品などの概要を記載したもの。

平日時間外ローン相談会開催中

毎週木曜日

◆開催時間◆

15:00~19:00

相談してみる



ライフサポートカード「新規提携店」のご案内

セントラル福岡ゴルフ倶楽部



丘陵コース。自然を巧みに取り入れたレイアウトで
表情豊かで変化にとんだ18ホール。

利用にあたっては、直接ゴルフ場へ連絡し、
福岡県労福協の会員であることを告げたうえ
で、個人名で予約を行ってください。

プレー当日は、受付時に「ライフサポートカ
ード」を必ず提示してください。

料金

区分	一般料金	会員料金	備考
平日(火・水・木)	9,700	6,500	・セルフプレー料金
月・金とくトクDAY	8,800	6,500	・税込
土・日祭日	14,500	9,800	・食事付

特記事項

- (1) 月・金曜日のゴルフバック移動は、セルフサービスとなります。
- (2) キャディ付きの場合は、上記料金に3,150円(税込)を加算します。
- (3) ロッカー利用の場合は、別途400円(税込)が必要です。

労福協ライフサポートカード

FUKUOKA ROFUKUKYO LIFE SUPPORT CARD

利用年月日	年、月、日(曜)
-------	----------

利用者氏名

所属組合名

受付時に本券をフロントに提出して下さい。

福岡県労働者福祉協議会
〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番地1号
TEL(092)283-3141 FAX(092)263-3121

